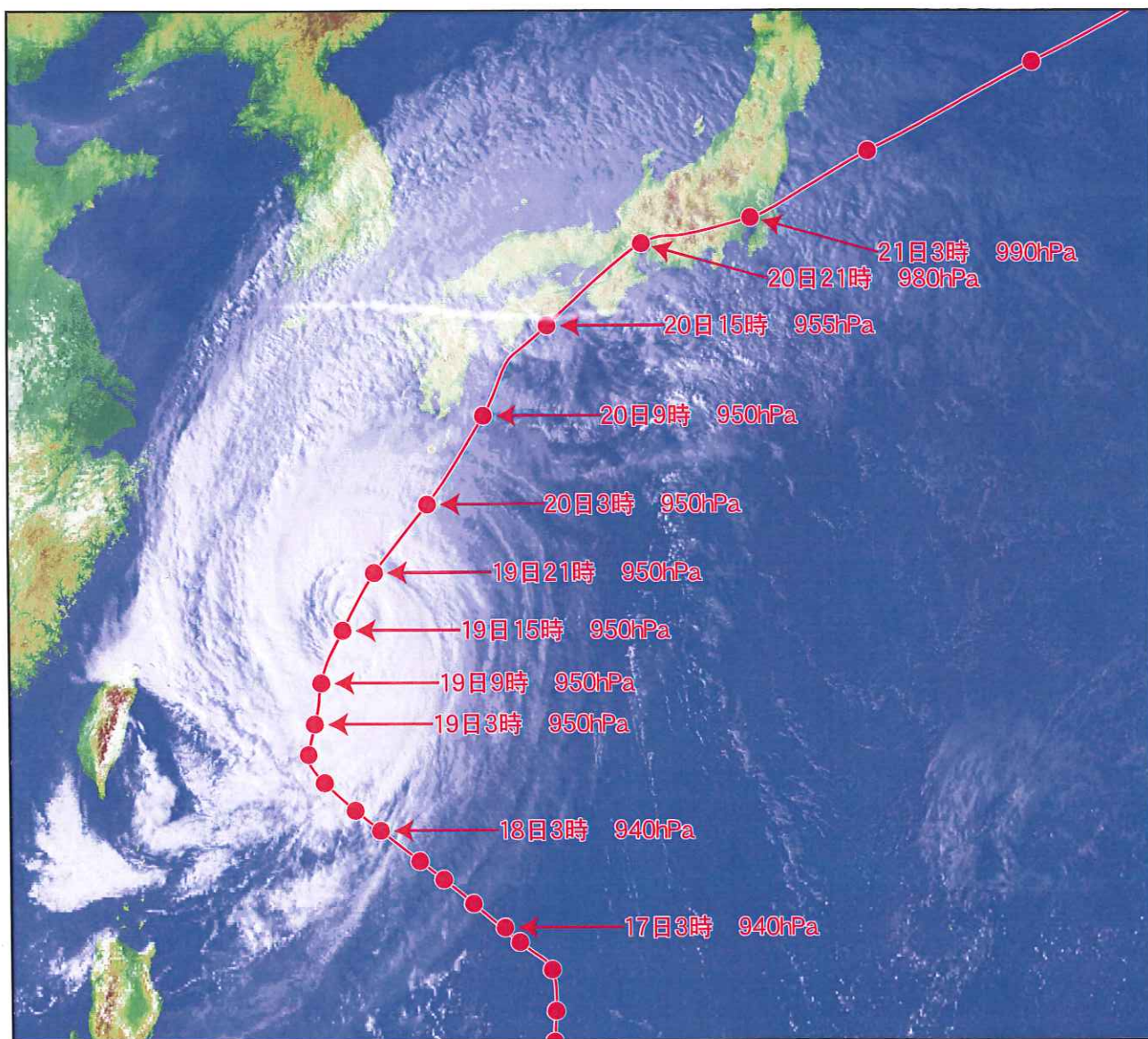


平

## 平成16年台風第23号を振り返る

平成16年10月20日、台風第23号は高知県に上陸し、その後、京都府北中部においても多大な被害をもたらしました。由良川流域では、広範囲に及ぶ豪雨が観測され、多くの家屋が浸水し、道路の寸断や山間部での土砂災害などが発生しました。



台風第23号経路図

## 〈気象概況〉

## 記録的な豪雨が日本列島を襲う

平成16年10月13日9時にマリアナ諸島近海で発生した台風第23号は、18日18時に大型で強い勢力となって沖縄の南海上を北上しました。台風は、19日に沖縄本島から奄美諸島沿いに進み、20日13時頃、大型の強い勢力で高知県土佐清水市付近に上陸した後、15時過ぎ、高知県室戸市付近に再上陸しました。その後、18時前、大阪府南部に再上陸して、東海地方に進み、21日03時に関東地方で温帯低気圧となりました。

台風第23号の影響で南から暖かく湿った風が流入し、本州付近に停滞していた前線の活動が活発になったため、西日本から東北地方の広い範囲で暴風、大雨、高波となりました。このため、10月20日の雨量は舞鶴市で277ミリとなり、昭和28年の台風第13号に次ぐ記録となりました。また、同日20時27分には、舞鶴市で、これまでの記録を上回る51.9m/sの最大瞬間風速を観測しました。

〈由良川洪水災害の概要〉

広範囲に及ぶ豪雨による水害

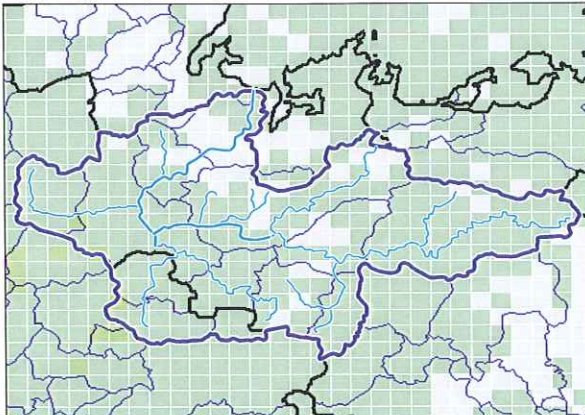
国管理区間内の4市(福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市)では、浸水家屋約1,700戸、浸水面積約2,600ヘクタールに達する被害が発生。特に下流域で被害が大きく、浸水面積約1,377ヘクタール、浸水家屋1,300戸に達しました。国道や府道といった地域の幹線道路は冠水し、山地部では土砂災害が発生するなど、流域に大きな被害をもたらしました。

降雨概況

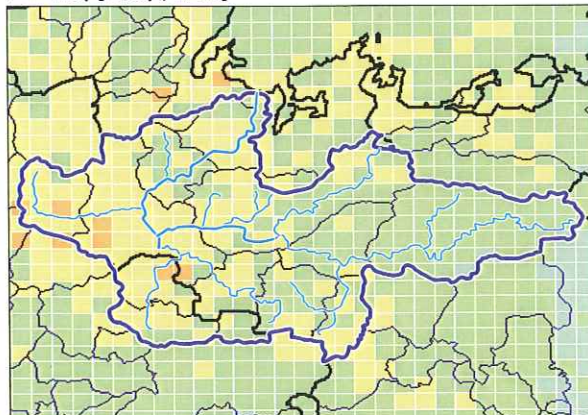


1時間降水量 (mm)					
0.0-5.0	20.0-30.0	50.0-60.0			
5.0-10.0	30.0-40.0	60.0-70.0			
10.0-20.0	40.0-50.0	70.0-80.0			

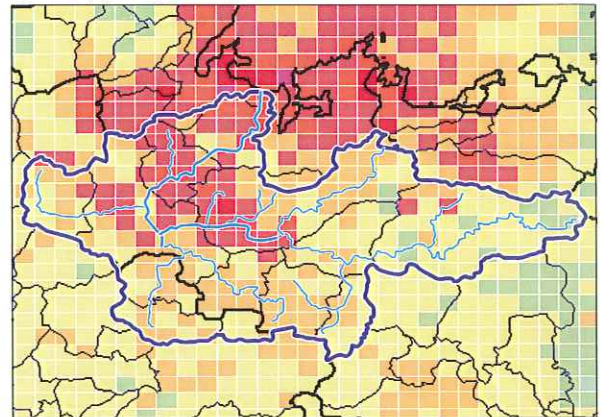
1 10月20日 12時



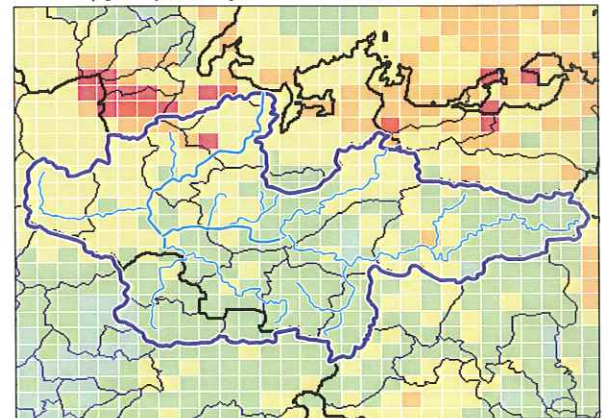
2 10月20日 14時



3 10月20日 16時



4 10月20日 18時



5 10月20日 20時

